

【講義用レジュメ】

NotebookLM Studio「全9機能」完全解説ガイド

～ 読み込ませた大切な資料を、ボタン一つで多彩な形にデザインする魔法の工房 ～

これまでの勉強会で学んだChatGPTやGeminiなどのAIは、一般的な質問に答えてくれたり、文章を新しく作ったりする「インプット（理解を助ける）」の役割が中心でした。しかし、Googleの最新AIツール「NotebookLM」の右側に現れる「Studio（スタジオ）」は、あなたが追加した資料だけを元に、対談風の音声、発表用スライド、パッと見てわかる図解（インフォグラフィック）、脳トレ用のクイズなど、「多彩な形に自動デザインして届ける（アウトプット）」機能の集大成です。今日は、Studioに搭載されているすべての機能（全9種類）の使い分けと生活に役立つ具体例を、余すことなく学びましょう。

基本：NotebookLMの「3分割画面」とStudioの役割

NotebookLMは①左画面（ソース）：資料を並べる本棚、②中央画面（チャット）：AIに質問する窓口、③右画面（Studio）：資料を形にする魔法の工房、という3分割の構造をしています。左画面で読ませたい資料に「チェック」を入れた状態で、右画面のStudioをクリックするだけで、AIが選択された資料から自動で特別なアウトプットを作ってくれます。

Studio機能（全9種類）パッと見一覧表

機能名	化けさせる（出力）形式	こんな場面・生活での活用におすすめ
① 音声解説	2人のAIが掛け合うラジオ番組（音声）	散歩や家事をしながら、耳だけで手軽に資料を理解したいとき
② 動画解説	AIナレーション付きのスライド解説動画	分厚い資料やマニュアルを、テレビ番組のように見て学びたいとき
③ マインドマップ	情報の関連性が一目でわかるツリー状の構造図	複雑な出来事の繋がりや、自分の思い出の構造を視覚的に整理するとき
④ レポート	まとまった要約ドキュメント（学習ガイド等）	講義のまとめや、町内会で配る「わかりやすい要約版」を作るとき
⑤ フラッシュカード	表面（問い）と裏面（解説）の暗記カード	趣味の言葉や新しいスマホの機能名を覚える、毎日の脳トレに
⑥ テスト（クイズ）	資料に基づく自動作成の「4択問題集」	自分の資料からクイズを出してもらい、認知トレーニングに役立てる
⑦ インフォグラフィック	アイコンや図が配置された美しい「1枚の画像」	文字だらけのお知らせを、視覚的に見やすいポスターに上げたいとき
⑧ スライド資料	発表用の綺麗な構成・レイアウトのスライド	みんなの前で発表する資料や、お気に入りの趣味の記録をまとめるとき

機能名	化けさせる（出力）形式	こんな場面・生活での活用におすすめ
⑨ データテーブル	散らばった数字や情報を整理した「比較一覧表」	過去の複数の活動から、予算や担当、日付だけをすっきり並べたいとき

1. 「目と耳」で楽しむための5大・表現機能

① 音声解説 (Audio Overview)

資料の内容を、まるでプロのキャスター2人が対談しているかのような「本物のラジオ番組」に化けさせてくれる機能です。日本語にも完全対応しています。【シニアの活用例】散歩中や、お茶を淹れている時、あるいはスマートフォンの小さい文字を目で追うのが疲れた時に「自分専用ラジオ」として耳から楽しく知識を吸収できます。

② 動画解説 (Video Overview)

資料内の重要ポイントや図式をAIが自動で綺麗に抜き出し、AIナレーションがついた「解説動画」に仕上げてくれる驚きの機能です。【シニアの活用例】面倒なスマートフォンの取扱説明書も、テレビ番組を見るかのような感覚で、画面を眺めているだけでいつの間にか使い方が頭に入ります。

③ マインドマップ (Mind Map)

情報や概念の繋がりを、木の枝が伸びていくような「ツリー状（構造図）」に整理して視覚化する機能です。

【シニアの活用例】織田・豊臣・徳川の『戦国三英傑』の複雑な歴史の繋がりを、自分のこれまでの趣味、人生の出来事を整理・俯瞰するのにとても便利です。気になる箇所をクリックすると、AIがさらに詳しく対話で掘り下げられます。

⑦ インフォグラフィック (Infographic)

文字だけで難しそうに見える資料の要点を、パッと見て直感的にわかるように「1枚の美しい図解画像」に仕上げる機能です。【シニアの活用例】町内会のお知らせや、自分がまとめた『美味しいお茶の淹れ方』のコツなどをポスターのように見栄え良く仕上げ、周りの人へ綺麗にシェアするのに適しています。※画像として出力されるため、一部分だけの文字修正はできません。

⑧ スライド資料 (Slides)

構成案の作成から各スライドのデザインまで、ボタン一つで「発表用のプレゼンテーション資料」を作成します。Studio機能の中で最も実用性が高く、プロのような見栄えの良さを誇ります。【シニアの活用例】家族へのこれまでの趣味の旅行記の発表会、地域での簡単な説明会など、自分でイチからスライドをデザインする手間をかけずに、完璧な『たたき台』が手に入ります。

2. まとめ・整理・脳トレに役立つ4大機能

④ レポート (Report)

資料を丁寧に読み込み、要点をすっきりと整理した「学習ガイド」や「文書形式のまとめ資料」を生成します。
【シニアの活用例】講義で読んだたくさんの資料を1枚の紙にまとめ、後から印刷して何度も読み返す「持ち歩きまとめシート」の作成に役立ちます。

⑤ フラッシュカード (Flashcard)

表面に「問いや言葉」、裏面に「答えや解説」が載った暗記用のカード（単語帳）を自動作成します。
【シニアの活用例】新しく買ったスマートフォンの専門用語や、趣味で覚えた歴史上の人物名などを登録し、めくって確認しながら行う「毎日の記憶力アップ（脳トレ）」にピッタリです。

⑥ テスト / クイズ (Quiz)

資料に書かれている内容から、あなたの理解度を試すための「4択問題集」をAIがその場で作ってくれます。
【シニアの活用例】『私の思い出の日記』や『今日の資料』から5問、クイズを出して！と頼めば、自分だけのオリジナル脳トレクイズが始まり、毎回お題が変わるので飽きずに楽しめます。

⑨ データテーブル (Data Table)

複数の資料に散らばって記載されているバラバラの「日付」「お金の金額」「担当者」「タスク」などを、AIが自動で整理された「比較一覧表」に変えてくれます。【シニアの活用例】過去のいくつかの会議メモから、『誰が・いつ・何をするか』を抜き出してスッキリしたタスク表にし、Googleスプレッドシート（表計算ソフト）に保存して整理するのに最適です。

㊦ シニアの皆様へ：AIを安心して使いこなすための注意点

1. ハルシネーション（嘘）と元データの品質

AIは稀にもっともらしい嘘をつくことがあります。特に、漢字のふりがなの読み間違い（歴史や地理の専門用語など）が発生しやすいため、大切な発表の前には、中央のチャット機能で「出典（資料のどこに書いてあったか）」を明示する番号をカチッと押し、元データの品質をご自身の目で確かめておくのが安心です。

2. 個人情報の守り方

ノートブック自体は完全に非公開ですが、AIの品質向上のフィードバックを送信する際などに漏洩するのを防ぐため、住所やパスワードなどの機密性の高い個人情報は入力・読み込ませないように心がけましょう。

講師からの一言：「苦勞して勉強し、すべてを覚える必要はありません。必要になったときに、このレジュメやAI図書館を見て答えを見つける方法を知っておくだけで、デジタルライフは劇的に楽になります。年齢で衰えた記憶力はAIがバックアップしてくれます。見るだけ、聴くだけでも大歓迎！肩の力を抜いて、楽しむことから始めましょう！」